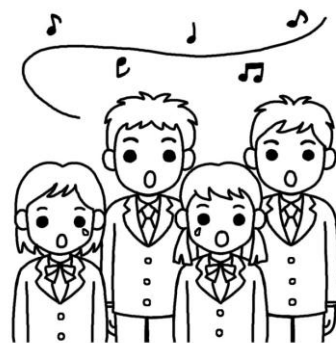




心温まる素晴らしい卒業式になりました！ ～卒業証書授与も「別れのことば」も素晴らしかった～

3月20日(水)の午前中、本校体育館で、平成30年度 甲府市立舞鶴小学校 第74回 卒業証書授与式を行いました。清々しく晴れ渡る青空のもと、卒業生47名全員参加の心温まる式となりました。

卒業証書を受け取る時の態度が素晴らしく、呼名された時も全員ははっきりと「はい」と返事をし、全員しっかり私を見て卒業証書を受け取っていました。私の方からも、賞状を渡す時に、例えば「赤組の応援団長として、みんなをリードする姿はとても立派でした！」というように一人一人に声をかけたのですが、卒業生の真剣に私を見つめる目を見て、その時の様子を思い出し、思わずうるっと来ることが何回もありました。



私の「はなむけのことば」の時にも、本校の6年生ではいつものことではあるのですが、全員が私をしっかり見て話を聞いていて、改めて「本当に良い子ども達だなあ！」と感心しました。

別れのことばでは、5年生も呼びかけや歌をととてもがんばり、本当に良かったです。そして、何といっても主役の卒業生の呼びかけや歌は大変素晴らしかったです。特に2曲目の「最後のチャイム」は合唱曲としての完成度も高く、子どもたちの卒業に対する想いのこもった歌声で、熱いものがこみ上げてきました！呼びかけも一人一人心がこもっており、一つ一つが心の中に響きました。

また、子どもたちが退場した後、来賓や保護者の方々から、ロク々に「本当に感動的な卒業式でしたね！」という温かい言葉をかけていただき、舞鶴小学校の素晴らしさ、そこで学ぶ子どもたちの素晴らしさを改めて感じました。

卒業式がこのような素晴らしい式になったのは、第一には卒業生と5年生がとても良い子ども達で、心に残る素晴らしい卒業式にしたいという強い想いの表れだと思います。また、その子ども達を熱心に指導した6年生と5年生の担任の指導のおかげです。さらには、チーム舞鶴として一丸となり、素晴らしい卒業式にするために心を一つにして頑張った先生方の頑張りもととても大きいです。また、お忙しい中ご臨席を賜り、温かい眼差しで最後まで見守っていただいた来賓の皆様のおかげでもあります。そして、何ととっても、子どもたちをこんなに良い子に育てていただき、いつも励まし、勇気づけ、温かい眼差しとたくさんの拍手を送っていただいた保護者の皆様のおかげです！！

ビオトープの再整備工事開始！

ビオトープが再開園して1年半が経ち、メダカを中心にたくさんの生き物が住みついたのですが、循環ポンプが故障してしまいました。春休み中に、再整備工事を行うことになっています。4月1日には、元通りのビオトープに戻る予定です。

ブロック塀の撤去と新築工事開始！

ご心配をかけました本校のブロック塀の工事ですが、耐震化の必要のある南門の東側と校庭南側、プールの北側につきまして5月の連休中には工事を終了し、軽量の金属製の塀になる予定です。ご安心ください。

卒業式に贈るはなむけのことば ～心に届くように～

今回は、卒業式の時に卒業生に贈った「はなむけの言葉」を紹介します。全文ではなく、一番大切な部分のみ抜粋して掲載させていただきます。

卒業式「はなむけのことば」

(前略) 特に、今年度の皆さんの活躍は素晴らしかった。皆さんの頑張る姿から、校長先生は、改めて、三つのことを学ぶことができました。皆さんの卒業文集を読んでもみると、陸上記録会の六十メートル走でこのような文章がありました。

「用意、パン。」スタートの合図が鳴った。私と一緒に走った組の人たちは、速い人ばかりだと思っていた。いざ走ってみると、私と同じか、少し速いくらいで良かった。そのまま半分くらいまで来た時、私は転んだ。その時のことは、あまり憶えていない。ただ、転んだはずなのに、痛くはなかった。走り終わった瞬間、ひざと手首が痛くなった。他は何も憶えていなかった。けれども、その何倍もやり遂げたうれしさがあり、本当に良かったと思うことができた。(中略)

「不屈」とは、困難にくじけないでやり通すことだ。今回の出来事でいうと、転んでもすぐに起き上がって、走ることが大切だということである。何があっても絶対にあきらめてはならないということは、人生にとって一番大切なことだと自分自身に気づかせてくれた。

これから皆さんが、夢を実現する際に、大なり小なりの「挫折」があると思います。校長先生も経験しました。でも、人間には「挫折」とともに「不屈」があります。「不屈」の心があれば、どんな「挫折」が待っていようと、何も怖くはないのです。(中略)

二つ目は、東京ディズニーランドです。アトラクションに並んでいる最中に、〇〇君の具合が悪くなってしまいました。どうしようかと考えているうちに、順番が近づいてきました。みんななら、こんな時、どうしますか？ いよいよ私たちの番になった時、純希君が、「僕は、摩仁君といるから、みんなで乗ってきて。」と言ってくれました。優しい人だと思いました。乗り終わったら、先生のいるレストランに行きました。ディズニーランドでは、仲間の優しさを知ることができました。大変なこともあったけど、最高の思い出になりました。

最近、読んだ本には、『「親切」には、五つの副作用がある』と書いてありました。親切にした人も幸せになり、親切にされた人も幸せになり、その親切は静かに広がり、みんなが幸せになっていく。皆さんも、親切な人になり、皆さん自身と、皆さんのまわりの人を幸せにしましょう。

(中略) その中でも思い出に残っている行事は、最後の運動会です。リレーは、得意種目ではないので、少し緊張しました。「用意、パン」この合図とともに第一走者が走り始め、走る順番が五番目の私に一位でバトンが回ってきました。そのまま一位でバトンを渡さなければいけない。その一心で、全力で走りました。途中で家族の応援の声が聞こえてきました。その応援のおかげで、そのまま誰にも追い越されずにバトンを渡しきることができました。渡し終わった後の達成感は素晴らしいものでした。

運動会のリレーはとても盛り上がり、その時の声援は、大きいですね。そのような中でも、全力で走っているこの子の耳には、家族の応援の「声」がはっきりと聞こえてきました。皆さんが頑張っている時も、苦しい時も、悲しんでいる時でさえも、いつもご家族は、皆さんのことを応援して下さいます。お父さん、お母さんがいたからこそ、君たちの小学校生活は素晴らしかったのです。これからも、家族を大切にしましょうね。

「不屈」「親切」「家族を大切にすること」この三つをこれからも心の支えにして下さい。(後略)

平成31年3月20日 甲府市立舞鶴小学校

校長 相河 竜治